

国分寺市にふるさとをつくる会

600号 令和5年11月1日発行

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 岡本 浜夫

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町 3-7-8

TEL: 090-6937-8070 fax: 042-325-7616

E-mail: hatamatu@mint.ocn.ne.jp

特別寄稿

早大所沢キャンパスの”湿地・里山保全見学会”参加報告

市内で緑のボランティア活動に参加している市民 小泉郁雄
“国分寺市環境ひろば”が9月10日に主催した標記の見学会に参加しました。所沢キャンパスのA地区（約24ha）には人間科学部とスポーツ科学部の施設があり、B地区（約12ha、内3haは湿地）は狭山丘陵の北側に位置する湿地と里山です。B地区を管理している自然環境調査室の竹内先生から湿地・里山管理につき講義を受け、次に現場を案内して頂きました。

大学がこの土地を購入した1980年頃には燃料革命により里山には人手が入らなくなっており、また水田は放置され湿地になっていました。従って「保全」とは現状の維持ではなく人手をかけて昔の姿に戻し、また生物多様性確保という要求にも対応していくということであり、多大な労力を継続的に投入していく必要があります。このため「生物多様性を守ることと保全活動の持続可能性」を「Win-Win」の関係とすることを目指しているとのこと。作業の担い手は市民、留学生も含めた学生ですが、最初から作業参加を呼び掛けるのではなく、観察会・生物調査への参加、作業体験などを経て本格的に作業に参加してもらうように工夫されています。湿地の管理については、水田の放置によりヨシ原になっていた湿地をゾーニングしてローテーション制で稲作を行いつつ、水田植生の多様化を図るという手数のかかる活動が行われています。この作業は容易ではないでしょうが、“早稲田米”を収穫する楽しみが作業参加のインセンティブになっている筈です。講義と現場見学を通して多くの事を学びましたが、残念ながらここではその一部しかご紹介できません。



10月の自然塾

10月の自然塾はドングリゴマの相撲大会です。

集合時間の前後は強い雨でしたが23名に参加いただきました。自然塾では自然界で人や動植物が互いに影響しあって暮らしていることを主にX山で学んでいます。10月のプログラムは木の実・草の実を鳥が餌として食べ、そのあと糞と一緒に種を運んで子孫を増やす仕組みを解説、X山で採取した木の実・草の実をつぶして中の種を観察してもらいました。

後半はどんぐりの子孫を増やす仕組みを解説、鳥に運んでもらう木の実との違いを説明しました。講師が自宅で3年間どんぐりから育てたコナラの木を紹介、子供たちの実感した様子が確認できました。その後どんぐりでコマを作り相撲大会です。チームごとに代表を決め、横綱・大関・関脇を選びました。コマ作りには保護者の方にも参加いただき、日ごろは使っていないだろうキリを使った作業がとても手際よく驚きました。相撲では1年生女子が決勝に進出、熱心な応援で盛り上がりました。優勝者は力強いガッツポーズでインタビューにも元気に対応いただきました。

<令和5年>11月行事予定

- 2日(木) 多摩に歩く会
9:00 西国分寺駅南口噴水前
- 3日(金) 都市緑化を考える会
9:30 JR 青梅線・軍畑駅改札出口前
- 6日(月) 防災推進の街づくり仲間の会
井戸端会議 9:30 室内プール前井戸
- 7日(火) ふるさとの自然と歴史を訪ねる会
10:00 山手線・目白駅改札口
- 8日(水) 森の自然塾運営会議
9:30 恋ヶ窪公民館
- 11日(土) ふるさとをつくる会合同幹部会議
14:00 恋ヶ窪公民館
- 18日(土) 日吉町町内会定例会
13:30 日吉フードセンター
- 19日(日) 森の自然塾
9:20 エックス山中央集合
- 19日(日) 環境ひろば
10:00 国分寺市役所
- 26日(日) 防災推進の街づくり仲間の会
14:00 恋ヶ窪公民館
- 26日(日) 姿見の池ホテルの会
作業: 9:30 姿見の池
会議: 13:30 恋ヶ窪公民館
- 30日(木) 会報配布準備(含む印刷)
13:30 恋ヶ窪公民館
- 30日(木) 多摩に歩く会会議(会報配布準備終了後) 14:15 恋ヶ窪公民館

写真左から

- ・竹内先生(樹林地でのご説明)
- ・湿地(絶滅危惧種も植生)
- ・樹林地(樹齢60~70年のコナラ)

自然体験指導者 NEAL リーダー 近江吉郎





日吉町内会《功労ボランティア団体賞》

功労ボランティア団体42団体表彰について

会長 鹿島義

会場の明治記念館には北は北海道から南は沖縄県まで、防犯功労93名
防犯体26団体、功労ボランティア団体42団体、公募ポスター、
青パト写真最優秀賞2名の95名、そして団体68に対する表彰である。

今回は全国防犯協会連合会（警察庁）からの表彰である。東京都ではボラン
ティア団体約4000団体あり、その内の3団体が選ばれたのは価値あると思います。推薦理由に会員は防犯
エキスパートを目指して都自治会の各種防犯講習を受講するなど専門的な防犯知識を習得して警察から提
供された各種情報を基に、会員の高齢者への戸別訪問、児童の見守り活動、防犯チラシの配布など、精力的
な活動をやっていると書かれています。その中で防犯パトロール1700回達成した継続について取り上げ
たい。防犯パトロールは3コースで抑止力の強化をうたって行動している。毎年わが会員も高齢化が進み参
加者が以前に比べて大幅に少なくなっている。参加者の減少により3コース維持の問題が取り上げられ、
会員確保のためポスター作成、戸別訪問してPR、そしていろんな団体とも連帯して幅広い人材に声が届く
ように努力中であるがなかなか難しい。維持については今後とも努力が必要となる。参加人数が少なくとも
通学路、公園など防犯環境をチェックして、今注目されているホットスポットパトロールをやっていきたい。



「自然観察・長池公園」

多摩の自然を楽しく学ぶ会 富村 隆子

2023年12月2日 野川源流スクール開講！

※修了者（講習・散策に参加していただき、
検定に合格された方）は、「野川ボラ
ンティアガイド」に登録します。

日時：令和5年12月2日（土） 10時～15時30分

場所：本多公民館（講座・検定 10時～12時

野川源流の散策 13時～15時30分

募集：40名（対象：16歳以上）

申込先：国分寺市建設環境部 緑と公園課

TEL 042-325-0111（内線 352）

受付開始：令和5年11月6日

長池公園は、多摩丘陵の原地形を可能な限り残した自然保全型公園
として2000年に開園しました。多摩ニュータウン開発以前から、農
業用としての役割を担っていた長池・築池の2つの溜池を中心とし
た多様な水辺環境と、広大な雑木林、田んぼといった里山の環境が、
豊かな自然を生み出しています。私達は最初に立ち寄った「自然館」
で大切に育てられている貴重な水生植物と、初めて見るハチオウジ
アザミに出会いました。ハチオウジアザミは2003年頃八王子市内多
摩丘陵で発見され、2012年2月に新種として発表されたアザミです。
トサアザミに似た美しい花でした。自然館を後にして、現代的デザ
インの姿池とそこに架かるネオバロック様式の長池見附橋の景色を
楽しんだ後、雑木林の小径を散策、3か所の観察デッキに降りて珍し
い沢山の水辺の植物の観察を堪能しました。十字路を経て、黄金色
に実った稲田のあぜ道に出た時、何故か懐かしくも暖かな気持ちが
込み上げてきました。本年度最終回のこの会が、爽やかな秋晴れに
恵まれ無事終了出来たことを安堵し、皆様に感謝申し上げます。



長池見附橋



立川防災館研修会の実施



防災推進の街づくり仲間 代表 荒川隆二

9月26日に内藤・日吉地域連合防災会と連動して立川防災館に参加者27名で研修会を実施いたしました。
今年に関東大震災から100年目に当たり、また今後30年以内に70%の確率で首都直下地震が発生すると言
われております。大きな災害が発生した際には、早期の公助を期待することは難しく、如何に日頃からの自助と、近隣での共助を実施していくかが、
被害を最小限に食い止める方策ではないかと言われます。そうしたことから、
今回、防災知識や技術の向上のため立川防災館での研修会を開催いたしました。受講項目は、地震体験、応急救護体験（AED）、救出救助体験、
VR防災体験の4項目でした。講師のお話により、地震発生後にはどのような
行動をとらなければいけないか、AEDは何のために何故早急に実施し
ないといけないかなど、詳細に指導頂きました。午前中の短い時間でしたが大変有意義な研修会でした。



立川防災館

環境保全に配慮し、
人に、社会に、地球に
優しい製品及び
サービスを提供します

リオン株式会社
<https://www.rion.co.jp/>

エックスやま
本社はX山に位置します
自然環境保護に賛同
賛助会員 TEL 042-321-5441
国分寺市日吉町4丁目13番2
中央システム技研(株)
代表取締役 川野 誠
(長野県下伊那郡出身)

私たちは木を森を自然を
大切にしています。
Environment Conscious
R&D for the Future
企業紹介はこちら
(株)日立製作所
中央研究所 →

HITACHI
Inspire the Next

ホームページ
国分寺市に
ふるさとをつくる会

QRコード

